

総務省独立行政法人評価委員会（第14回）議事概要

1 日 時 平成17年8月26日（金）10時00分～12時00分

2 場 所 第一特別会議室（総務省8階）

3 出席者

- （委員）熊谷委員長、羽鳥委員長代理、亀井委員、國井委員、
児玉委員、佐藤委員、篠塚委員、高畑委員、二宮委員、
原島委員、廣井委員、堀部委員、宮崎委員、八坂委員
（総務省）森官房長、松本官房技術総括審議官、
阪本官房政策評価審議官、野上官房政策評価広報課長、
明渡官房政策評価広報課企画官
井波官房管理室特別基金事業推進室長、
武井技術政策課長、西本宇宙通信政策課長、
田口統計局総務課長、寺村消防庁予防課長

ほか

4 議事概要

- （1） 総務省所管独立行政法人の平成16年度の業務の実績に関する評価について審議が行われ、評価調書（案）について了承された。
- （2） 独立行政法人情報通信研究機構の平成13～16年度の実績に関する見解について審議が行われ、その見解について了承された。
- （3） 独立行政法人情報通信研究機構の組織・業務全般の見直し（見直しの当初案）について、議論を行った。【非公開】
- （4） 「独立行政法人の役員退職金に係る「業績勘案率」の決定についての申し合わせ」の見直しについて審議が行われ、「申し合わせ」の改定が了承された。
- （5） 今後の総務省独立行政法人評価委員会開催スケジュールについて説明があった。

5 委員会における主な意見等は以下のとおり。

- 分科会における審議において、「独立行政法人の設立趣旨やその活性化の観点を鑑み、剰余金を出来るだけ「目的積立金」として中期計画に定めた用途に充てることができるように、積極的に財務省等と協議等を行っても良いのではないか」という意見があった旨が報告された。
- 審議する案件の説明に使用する概要資料について、記述に不明確なところがあるので、記述を明確にすべきである、という意見があった。
- 実績評価等の審議について、各独立行政法人の業務内容や規模等を勘案して議事進行時間の配分を見直した方が良い、との要望があった。

以 上

（文責：大臣官房政策評価広報課）